

民報

2021年8月22日

第1312号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉱一（宝徳）
TEL 0235-64-3941

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
(月200円程度)
8月 22人 9,183円
7月 48人 23,860円

終戦の前年の昭和19
(1944)年、徵兵

記念日

最低賃金改定を答申 29円増の時給822円

最低賃金の10月改定に向け、山形地方最
低賃金審議会は8月6日、現行の時給793
円から29円アップの822円に改正するよう
答申しました。

円増の930円になります。

日、現行の時給793円から29円アップの822円に改正するよう答申しました。7月16日の中央最低賃金審議会は一律28円41円で、最下位は高知、沖縄の820円となり、地域間格差は現行の221円のままで3年ぶりに縮小しませんでした。

高宮成
東北地

円上回る結果となりました。

の大幅ダウンだったの
で、今年は事実上2年
分の改定となります。

審議会の採決では、使用者側委員5人が反対、労働者側と公益側委員の9人が賛成しました。

異議申し立ては8月
23日までです。

格差は221円

○ Mさんの最低賃金に関する意見書か
ら抜粋

本いかばかりのアンドリューは、たかに数学が得意だった。買ったおもちゃは、親戚のプレゼントのあとで、自分で手のあたる。自分で手のあたる。

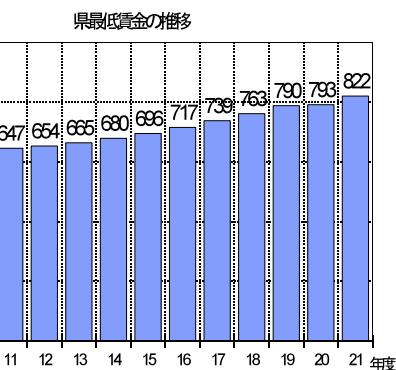
吉村美栄子知事は地域別最低賃金のランク制度「廃止」を訴えています。山形県労連などは全国一律制度確立を求め、時給1500円をと訴えています。

山形地方最低賃金審議会に意見書を提出した北村山のMさんは、「時給1500円は、山形県労連などは全国一律制度確立を求め、時給1500円をと訴えています。」と述べています。

私のような非正規雇用のひとり親も、この額なら貯金をし、子どもの大学進学を検討できます。

ダブルワークなどをしなくても生活できることで、子どもの発達を保障するために、子どもと一緒に過ごす時間もと一绪に過ごす時間も確保しやすくなります」と述べています。

Month	Average Monthly Earnings (¥)
January	629
February	631
March	645
April	647
May	650
June	650



釜石は太平洋沿岸であるから私には想像もつかない遠距離であるが、そこに打ち込まれている砲弾の音が、日本海側の藤島まで響いて来たという事が、驚きとともに米軍の大きさを思い知らされ、村内に悲痛な気持ちが漂っていた。

私は友だちと隣村の相撲大会を見に行つた。
1時半頃、村の人たちは祈祷を終え懇親会に入つていた。しんみりとしてお祭りはなかつた。
相撲大会は中止となり、私たちはなんとも氣恥ずかしい思いで帰つた。

親戚縁故を頼つて個人の家に間借りして通学していた。夜は黒い布で電灯を覆つて明かりが漏れないように寝ていた。

20年7月14日、米軍艦が岩手県釜石を艦砲射撃した音が、ドドドーンと窓ガラスに響くのであった。

湯野浜の人たちは恐怖のどん底で松林に逃れたと言う。

そして8月15日、ボツダム宣言を受託して戦争は終わった。

この年は炎天で暑い日が続いた。

特に8月15日は朝から太陽がきらきらと照りつける、うだるよう

JA庄内たがわに5千万円返還

市は肉用牛貸付制度

制度利用に移行すること

を発表しました。

JA全農等の民間

制度利用に移行すること

を発表しました。

市町村合併前の旧鶴岡

市と旧羽黒町、旧温海

町で実施していた事業

で、合併後に市全域で

実施してきた事業です。

肉用牛振興基金を財

源に、肉用牛を市が購

入し、その牛を畜産農

家に一定期間、無償で

貸し付けた後、譲渡す

る制度です。

畜産農家はその牛を

肥育、または繁殖させ、

販売することで、市に

償還し、畜産経営の初

期投資が軽減されるも

のです。

利用率の低さから、

市の行財政改革では、

民間の制度を活用する

など検討してきました。

昨年10月には肉用牛

振興基金に係るJA庄

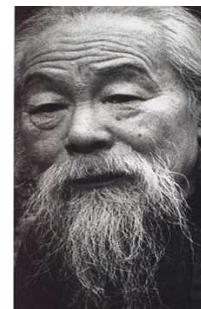
内たがわとの調停(※)

が成立したことから、

同基金を廃止し、JA

全農等の民間の預託牛

制度の活用に移行する



小松 均

①

青山 崇

が、故郷の大石田町立歴史民俗資料館の教室

ほどの部屋で行われた。

メーンは『栗の花咲く最上川・中』、富士山連作の一つ赤富士、

これまで見たことのない見事な赤色彩に驚く。

これまで見たことのない見事な赤色彩に驚く。

鯉、鯰など見れば見るほど、作品の魂が乗り移つてくるようだつた。

小松均は、1902年(明治35)年1月、大

石田町の延命寺に生まれ、2歳で父を亡くし

山形県出身の作家など比較すると画家で知っている人は非常に少ない。

これから書く小松均も、私も一度だけ真壁仁さんの案内で山形市

での展覧会を見ただけである。

今年、小松均展示会

十文字中華そば提供日

8月30日(月)
「ぽっぽの湯」食堂

た。 村山市白鳥の母の伯父の家で一緒に暮す。 母は均が8歳、温泉業し、2年ほど伯父の家で農業を手伝う。 嫁ぎ再婚した。

母は均が8歳、温泉業し、2年ほど伯父の家で農業を手伝う。 嫁ぎ再婚した。

均は高等小学校を卒業し、2年ほど伯父の家で農業を手伝う。 嫁ぎ再婚した。

18歳で東京に出て新聞配達のかたわら川端画学校で絵を学ぶ。 岡倉天心に請われて東京美術学校の教師となつた川端玉章が、東京小石川に設立した学校である。

1928年(昭和2)、大原村(現・京都市左京区大原)に転居し、ここを永遠の住み家と

1920年(大正9)、小松の名が上っている。 小松の名が上っている。

1928年(昭和2)、大原村(現・京都市左

天心に請われて東京美術学校の教師となつた川端玉章が、東京小石川に設立した学校である。

苦労かけた晩年の母も呼び寄せ、共に暮らした。

入選、国画創作会展入選などで頭角を現し、後に重要文化財になつた『湯女(ゆな)』の作者・土田麦庵(ばくせん)に見初められ、1925年(大正14)土田の山南塾に入塾した。 塾生100人ほどだが、主要な塾生として品として変更しま

た。 村山市白鳥の母の伯父の家で一緒に暮す。

母は均が8歳、温泉業し、2年ほど伯父の家で農業を手伝う。 嫁ぎ再婚した。

母は均が8歳、温泉業し、2年ほど伯父の家で農業を手伝う。 嫁ぎ再婚した。